

取組事例の紹介（天竜川上流河川事務所）

令和7年2月12日

天竜川上流流域治水プロジェクト【取組事例】

実施主体：国・県・村・JR

【取組事例】

①氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策

②被害対象を減少させるための対策

○天竜川右岸（上伊那郡中川村）小和田地区は災害リスク（浸水・土砂災害）を抱えた地域であり、これまでも昭和36年6月をはじめ幾度となく浸水・冠水など多大な被害を受けてきました。このため天竜川上流流域治水プロジェクトの対策として、国・県・村・JR・地元の関係者が連携し「地域の防災減災・生産性向上」を目指し、整備を実施しています。

○令和5年12月に中川村と共催し起工式を実施。令和6年1月より、圃場整備が開始されている。

●小和田地区の流域治水プロジェクトの概要

関係機関が連携して地域の宅地・農地の浸水被害を解消し、スマート農業により生産性向上を目指した流域治水プロジェクト

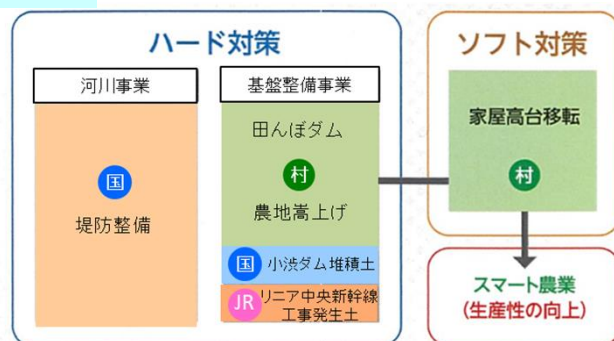
天竜川流域治水対策
中川村（地元自治体）・JR東海
・圃場整備による盤上げ
・田んぼダムの整備
・家屋移転
・避難訓練等の実施
国土交通省（天竜川本川管理者）
・本川堤防新設

【起工式概要】

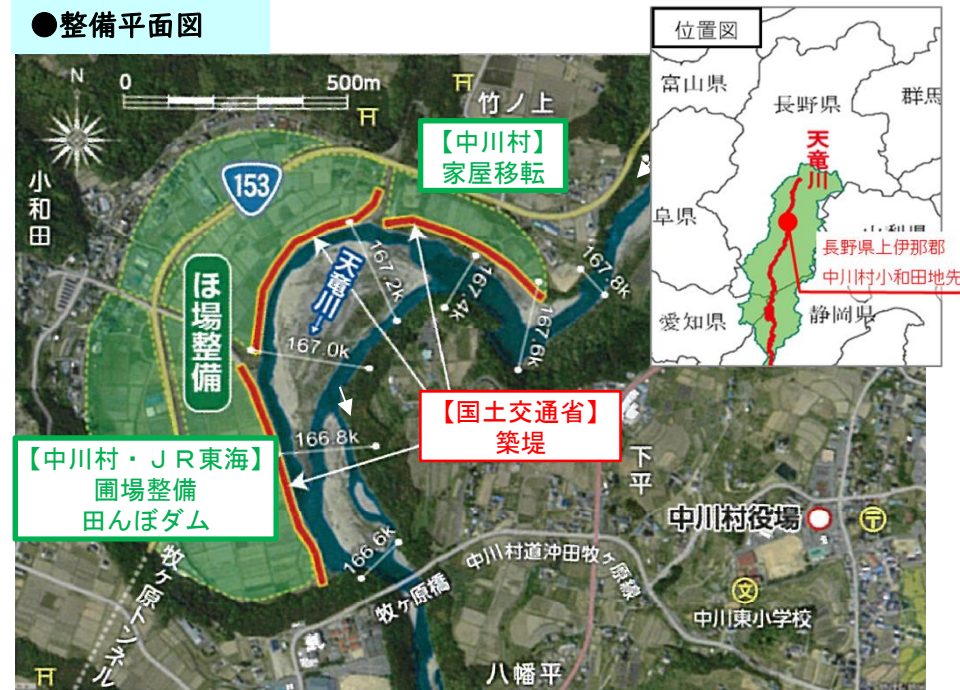
- ・日時：令和5年12月23日
- ・共催：中川村、天竜川上流河川事務所
- ・来賓：本省、長野県、国会議員、県議会議員、地元関係者



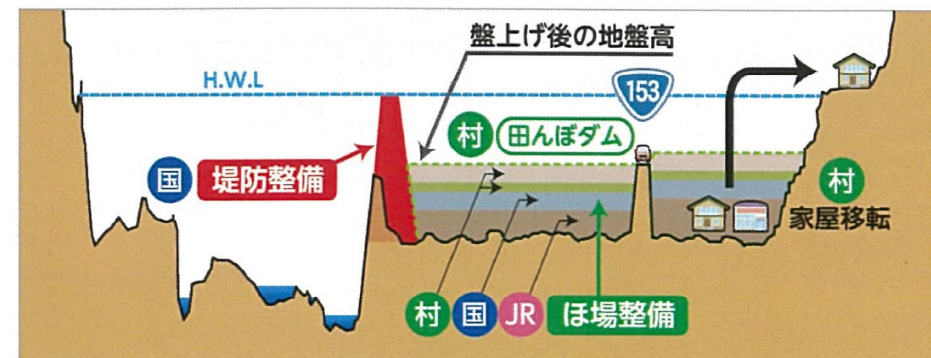
●役割分担



●整備平面図



●整備イメージ図



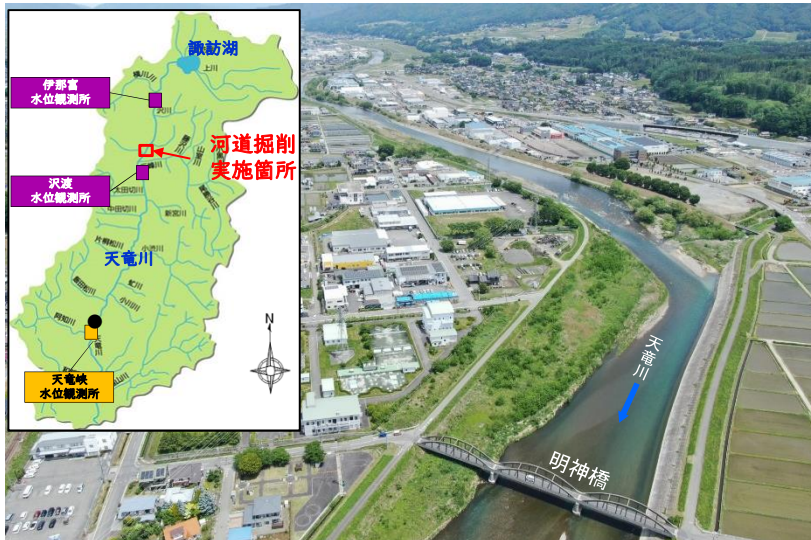
天竜川上流流域治水プロジェクト【取組事例】

実施主体: 国

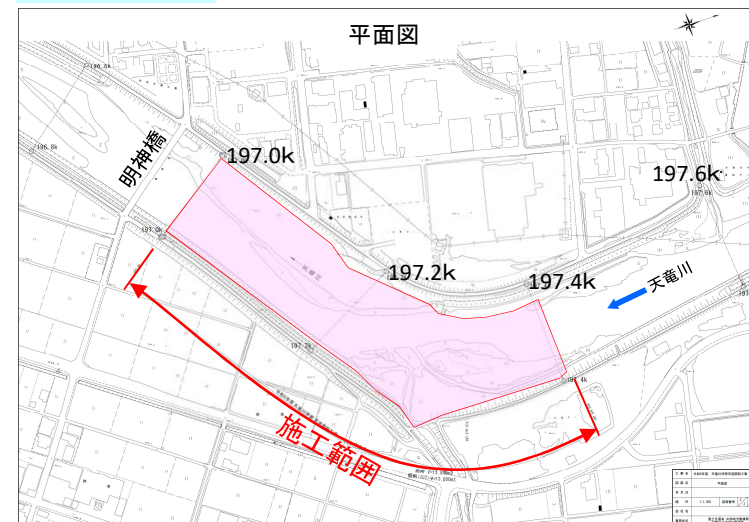
【取組事例】 ①氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策【河川水位低下対策】

- 洪水を安全に流すための河道断面を確保するため、河道掘削や樹木伐採等を実施。
- 伊那市及び南箕輪村の箇所で河道掘削を実施することにより、整備計画流量を安全に流下させ、背後地家屋等の浸水被害を防止する。

●位置図



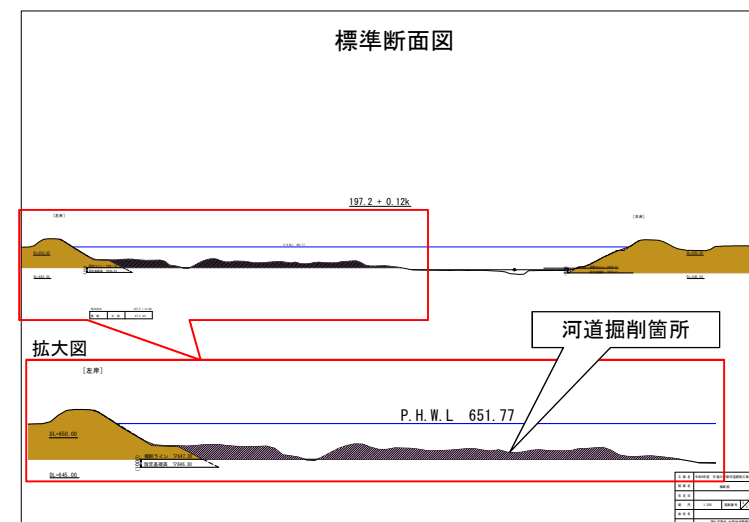
●施工範囲



河道掘削状況写真



標準断面図



天竜川上流流域治水プロジェクト【取組事例】

実施主体：長野県、駒ヶ根市土地改良区、国、営農者等

■【取組事例】 ①氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策（田んぼダム）

○天竜川上流流域治水プロジェクトに位置付けられている田んぼダムについて、その目的や効果、取組方法等について農業者や行政機関が正しく理解して取組を実施することを目的として「天竜川上流における田んぼダムの取組に係る研修会」を実施した。

○田んぼダムを研究している学識経験者の講演や長野県上伊那地域振興局農地整備課からの実証実験の紹介、企業からは開発している田んぼダムの製品の紹介がされ、田んぼダムの理解の促進を図った。

開催概要

1 目的

「田んぼダムの取組」の推進にあたっては、その目的や効果、取組方法等について農業者や関係団体、行政機関が正しく理解し、進めていくことが必要であることから、関係者間の理解醸成と連携強化を図るため、本研修会を開催する。

2 主催 長野県上伊那地域振興局（農地整備課）

3 共催 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所、
駒ヶ根市駒ヶ根土地改良区、駒ヶ根市営農センター

4 日時 令和6年8月7日（水）10:00～12:00

5 場所 駒ヶ根市赤穂公民館（駒ヶ根市地域交流センター）ホール
※ZOOMでのオンライン配信と併用開催

6 内容

（1）主催者あいさつ（10:00）

（2）天竜川上流流域治水プロジェクトの概要（10:10～10:25）

「プロジェクトの概要と現在の取組状況について」

天竜川上流河川事務所 流域治水課長 国京正隆

（3）講演（10:30～11:30）

テーマ「流域治水における田んぼダムの役割」

講師 国立大学法人 新潟大学 農学部 教授 吉川夏樹

（4）上伊那管内における実証試験の取組について（11:30～12:00）

ア）実証試験の概要

長野県上伊那地域振興局農地整備課

イ）自動給排水栓を活用したスマート田んぼダムの概要

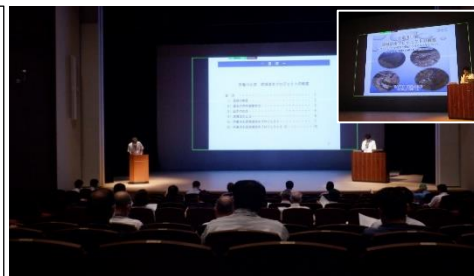
（株）farmo 福田健太郎様、（株）関東甲信クボタ 多田義次

（5）田んぼダムの現地見学会（13:30～14:30）

7 参加範囲 農業者、農協等農業団体、土地改良区、市町村、県関係機関等

8 参加人数 59人

流域治水や田んぼダムについて説明状況



天竜川上流流域治水プロジェクトの説明状況
（天竜川上流河川事務所 流域治水課長）



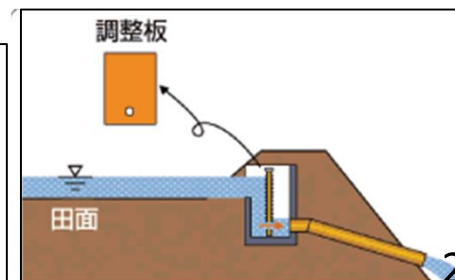
流域治水における田んぼダムの役割の説明状況
（新潟大学 農学部 吉川教授）

田んぼダム実証実験の現地確認状況



田んぼダムとは

田んぼダムとは、水田の落水口に流出量を抑制するための堰板や小さな穴の開いた調整板を取り付けることで、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えることで、溢れる水の量や範囲を抑制することが出来ます。



天竜川上流流域治水プロジェクト【取組事例】

実施主体：国、飯田市

【取組事例】 ③被害の軽減早期復旧・復興のための対策【地域住民や小中学生等を対象にした防災教育の推進】

今年度
に
ロゴを作成

○天竜川総合学習館「かわらんべ（飯田市と国（河川管理者）による共同経営）」は、通常時は河川環境や安全な河川利用、防災学習など総合的な学習の場として利用されている。洪水時は地域住民の応急避難施設として飯田市の防災活動拠点の役割を担っている。

○通常時の「かわらんべ講座」のうち、流域の親子を対象とした防災講座を共通テーマ「みんなで流域治水」として5件実施し、のべ117名が参加。水災害の発生要因や過去の水害、ハザードマップ判読や災害時避難に至る一連の水防災に関する各分野について体験を主体とした内容で関係機関と連携して実施。



令和6年度の防災講座

日時	参加人数	講座タイトル	内容
7月20日	44名	ダム つくろう	川の石を使っの河川工事遊びから防災施設の構造・効果を知る
9月7日	18名	駒ヶ根高原で砂防たんけん	土砂災害を防ぐ対策の見学と支川の特徴を知る観察や調査の体験
10月12日	17名	川のカタチと災害	伊那谷の成り立ちや地形地質の特徴と水害・土砂災害の関係を知る
10月26日	21名	防災ウォーキング	過去の水害の目印さがしと「ハザードマップ」判読による避難実習
11月16日	17名	体験！ひなん所生活	災害時の避難に関する情報を知り、避難所の開設と生活を模擬体験

川のカタチと災害



伊那谷の地形の学習

・日時：令和6年10月12日（土）9:00～11:00
・参加：17人



流れる水の働きの観察

防災ウォーキング



過去の水害の痕跡の観察

・日時：令和6年10月26日（土）9:00～11:00
・参加：21人



ハザードマップの判読

ダム つくろう

・日時：令和6年7月20日（土）9:00～11:00
・参加：44人



川の石で堤防やダムづくりの状況

駒ヶ根高原で砂防たんけん

・日時：令和6年9月7日（土）9:00～11:00
・参加：18人



流域の地質「花崗岩」の特徴の観察

体験！ひなん所生活



避難所開設の実習

・日時：令和6年11月16日（土）9:00～11:00
・参加：17人



避難所での生活の模擬体験

天竜川上流流域治水プロジェクト2.0【取組事例】

実施主体：国・町

【取組事例】 ①氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策

③被害の軽減早期復旧・復興のための対策

○『山吹地区MIZBEステーション』は、洪水時における緊急復旧活動等の拠点となる河川防災ステーションの機能に加え、平常時における賑わいの創出や地域活性化に資するエリアです。国と高森町が連携し一体となり整備を行っています。

●高森町山吹地区の『MIZUBEステーション』の概要

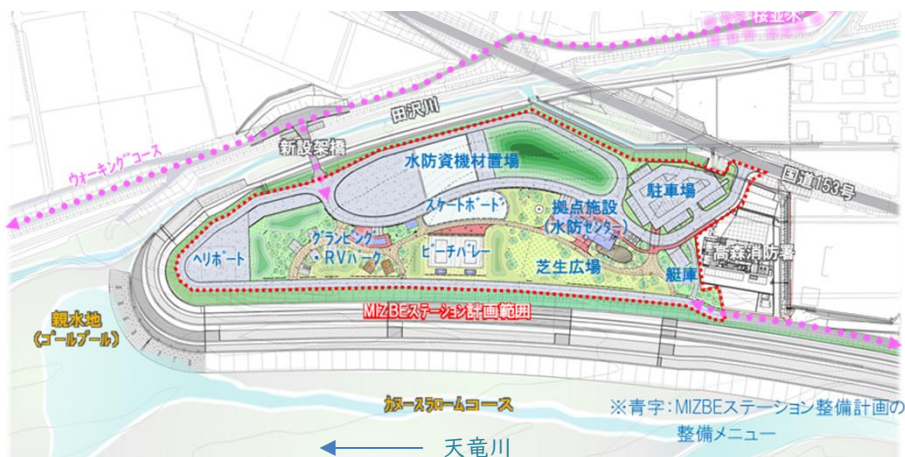
●緊急時の利用（イメージ図）

堤防決壊時の緊急復旧活動、災害復旧資材の備蓄、水防活動等の拠点、災害時の避難場所。



●平常時の利用（高森町作成イメージ図を加工）

高森町では、「天竜川高森かわまちづくり計画」に沿って、国民スポーツ大会開催に向けたカーブコースなどハード面の整備とあわせ、平常時はこのスペースを水辺への関心や賑わいを高めるようなイベントなどを実施する拠点施設として使用する予定。



●整備状況



●完成イメージ

